

このコーナーは市内のいろいろな出来事を紹介するコーナーです。皆さんの身近な出来事をお知らせください。

◆連絡先
安芸高田市 政策企画課
TEL 42-5612
〒731-0592
安芸高田市吉田町吉田791番地



さつまいもをうえたよ！ 小田東保育所 さつまいも植えつけ体験

満田 明さんは15年以上自分の畑を提供し、小田東保育所の子どもたちにさつまいもの植えつけ体験を行っています。今年は6月9日(火)に38人の子どもたちが参加して行われました。おぼつかない手つきで植える子どもたちに優しく手ほどきをしながら、植え終わったら、笑顔でピースサイン！秋の収穫に向けて満田さんが畑の世話をされ、秋には子どもたちと一緒に芋掘りです。掘り出した芋は焼き芋などで振舞われるとのこと。楽しみですね。



第23回広島県北部神楽競演大会 さつき選抜2015 in 神楽ドーム

5月30日(日)午前11時に天神神楽団の「神迎え」の儀式舞が執り行われ競演大会が始まりました。新舞の部・旧舞の部、それぞれの部門で県北各地から5団体が出場し、安芸高田市からは吉田神楽団、上河内神楽団が新舞の部に出場し日頃の成果を競い合いました。会場は、雨天にも関わらず1,200人が詰めかけ、お気に入りの神楽団や舞手へ、熱い視線と声援を送っていました。結果は、「紅葉狩」を舞った上河内神楽団が新舞の部で準優勝を果たしました。



合言葉は「予防」「早期発見」「重症化予防」 健康フェスタ2015

6月7日(日)、健康フェスタ2015がクリスタルアージュで開催されました。会場では、姿勢バランスチェック、骨密度測定、こころの健康チェックなど健康に関するさまざまな相談・測定ブースが設けられ、750名の方が来場。いい歯の表彰では、80歳になっても自分の歯を20本保とうという取組を達成された方を表彰する8020表彰、親子で口腔の状態が良い方を表彰するはつらつ家族表彰が行われました。そのほか、子ども神楽(八千代子ども神楽団)の上演や抽選会が行われるなどイベントも数多く催され、楽しく自分の体の状態を知ることができました。



国連本部で平和への思いを音楽で発信 ヒロシマ平和記念コンサート

4月30日、核拡散防止条約(NPT)再検討会議が開かれているニューヨーク国連本部で、安芸高田市在住7名が参加した広島邦楽連盟による「未来につなぐヒロシマ平和記念コンサート」が開かれ、会議参加者や国連職員などの140名を前に琴や尺八、日本舞踊を披露されました。

当日は、日本の伝統文化である邦楽を、平和への祈りを込めて披露。立ち見が出るほどの盛況で、涙を流して聞いている方もいたそうです。ヒロシマから平和のメッセージを、音楽を通じて世界に発信されました。



守ろう、繋げよう、地域の伝統文化 はやし田(花田植え)を市内各地で開催

6月7日(日)、甲田町下小原多目的広場横の田んぼで、大土山田楽が開催されました。代掻きの役目を終えた飾り牛が静かに見守る中、緋もんぺ姿の可憐な早乙女、バイを手にした熟練の楽器奏者、えぶり(えぶり)を手にした地域の若衆たちが、長唄に合わせて、賑々しく田楽を行いました。大土山田楽は大正時代に「団」として結成。戦争による中断を経て、昭和62年に再結成。以来、地域の伝統行事として愛され続けています。また、5月31日(日)にも美土里町と高宮町ではやし田が行われ、原田はやし田では、ふるさと応援の会主催のバスツアーに参加した71名の皆さんが鑑賞されるなど、多くの観客を前に披露しました。



交通ルールを守り、事故を防ぐ 安全パレード出発式

5月11日から5月20日の間、春の全国交通安全運動が実施されるにあたって、5月8日(金)に交通安全パレード出発式が市役所前駐車場で行われました。出発式では、吉田小学校2年生の児童に元気よく交通安全宣言を実施していただき、警察車両13台、青色パトロールカー6台が出発しました。今年の交通安全年間スローガンは「思いやり ゆとりは無事故へ つづく道」です。大切な命を守るため、交通ルールを守り、心に余裕を持った運転を心掛けましょう。



子どもたち自然の大切さを学ぶ 郷野小学校3,000匹の稚鮎放流

5月11日(月)、郷野小学校付近の桂地区水辺の楽校にて、可愛川漁協のみなさんと郷野小学校の1年生から6年生まで57名が、可愛川(江の川)に稚鮎3,000匹を放流しました。子どもたちは稚鮎に「帰っておいで〜！」別れの挨拶をしながら放流していました。稚鮎はそれに応えるように気持ち良さそうにスイスイ泳ぎ、7月末に体長25cmまでに成長します。その頃には、学校行事の「鮎のつかみ取り」で、さらに子どもたちを楽しませてくれるそうです。